

瀬戸内タウンミーティング（福田地区）

平成 24 年 10 月 15 日（月）午後 7 時～午後 9 時
福田コミュニティセンター 大会議室

参加者：男性 16 人、女性 7 人、計 23 人

意見交換

・豆田工業団地の進展状況は？

（市長）今は、設計測量をやりながら、地権者の方と立ち退きも含めてお話をしている状況。道路をつけるという話もしていて、県道との接続については県と協議をしている。うまくいけば、来年度（平成 25 年 4 月以降）用地買収にかかれると考えている。他の工業団地と比較すると、豆田以外の団地はすでに道路があるが、道をつけるという点で条件が違う。

・市民病院に行くと、11 時頃、看護師長が外来の患者にお茶を配っている。事務員がすればいいのではないか。また、お茶が置いてあって、「ご自由にお飲みください」とあるのだから、わざわざ配る必要はない。人間ドックで来ている人など、飲んではいけない人もいるはず。

（市長）お茶を配りながら、患者さんの様子などをみているのだと思う。

・それならば、あいさつなどの声掛けをすべきだが、あいさつは全然していない。

（市長）病院に確認してみる。

・病院もいいものができたら、人が集まるという現象はいつとき起こるかもしれないが、中身が伴わなければ患者さんは増えない。問診をしっかりと、3 分間治療でなしに、患者の顔色をしっかりとみて判断ができるようなお医者さんに来てもらいたい。

・学校の問題で、たいてい現場の教師がやり玉に挙がるが、先生は報告書などの作成で忙しく、子どもと対話する時間がない。人間を相手にするのだから、人間の心がわかる人が先生にならないと、不登校や自殺の問題はなくならないと思う。報告書などの作成は、教育委員会からいっているのだと思うが、報告書ばかり作っても意味がない。

・図書館が、最初の予定よりも面積が減っている。これだけ面積が減って、本当にいい図書館ができるのか。また、どうして減らすようなことになったのか。郷土資料館の部分も含めてこれだけの面積で本当に大丈夫なのか。日本

一という図書館にしてほしい。何でも縮小の傾向にあるのは、市議会のご意見なのだと思うが、子どもの教育を一番に考えてほしい。

(市長) たしかに、病院については、よいお医者さんに来ていただかないといけない。これまではあまりしていなかったが、岡山大学病院の医局などへの働きかけを行うようにして、良い人材の確保に努めていきたいと考えている。学校のことについては、先生の調査物は確かに多いかもしれないが、その多くは市独自でやっているのではなく、国や県が行っているもので、不登校がどのくらいあるのか、いじめがどのくらいあるのか、といった内容のものなど、実態をつかんでおくべき内容のものである。現在、市では、教師と生徒とが直接かかわらない時間をできるだけ減らす方向で、ITのシステムを入れたり、導入できるかどうかはまだわからないが、分業を取り入れたりといったことが必要。学校の先生の業務は、基本的には流れ作業がなく、一人で最初から最後までやることが多い。そこに、いかに分業を取り入れていけるのかというのが、効率化につながると考えている。子どもとの関わりを増やす中で、掌握力をどう高めていけるのか、一人一人の子どもにどう向き合っていくかということを考えていきたい。

図書館は、単独で建てるということで最初は考えていたが、公民館の隣に建てるということで、事務所など、いくらか共用で使える部分もできるのではないかと考えている。狭いからだめ、というのではなく、コンパクトにまとまっているけれど公民館と一体で運営し、活用できるという最低限のところ、というのが郷土資料館分と合わせて2,300平方メートルで、これ以上小さくしても、年間の経費は思うほど大きくは変わらない。図書館は、ありさえすればよいのではなく、市民の皆さんに来ていただいて、活用していただかなければ高い買い物になる。どう活用していただくか考えるのが鍵。

・昨年、干田川流域のポンプについて、発電機の故障で1時間停まった問題についてお聞きしたが、その後の状況はどうか。

(市長) ポンプの増設について、要望を続けている。連携については、建設課と河川事務所でも協議をすすめている。

・20分で復旧できれば、避難準備情報がでるような状況にはならなかったはず。

(市長) 機械のことなので、絶対に壊れないという保証はないが、去年のことを教訓にすすめていきたい。

・土地改良区の役員をやっている。ここで言うのがふさわしいかどうかかわからないが、要望について相談したい。市道で、6メートルの道から3メートルの

道に入るところがある。法面があって、入りにくい場所がある。車が落ちることもあるし、人身事故等も頻繁に起こっている。前部落長さんが建設課と協議をしているが、いま一度検討をお願いしたい。

- ・現地を見てもらったところ、鉄板をかけたなら段差ができて、かえって危ないが、橋を直すには多額のお金がかかるため、すぐにはできないということだった。

(市長) 現在、道路などの関係では、多くの要望をいただいているが、市町村によっては、要望の受付期間を決めて、どこまでできるか返答しているところもある。そういった方法を取り入れることも検討したい。

- ・広報で見たが、長船に2つある浄化センターを、さらにもう1つ増やす話が出ているのか。

(市長) 1つにまとめるという話は出ているが、新しく作る話が出ていない。

- ・あんなに豪華なものを作る必要はないのではないか。そういうところにお金がかかって財政を圧迫しているのではないか。

(市長) 豪華にする必要はないと思っている。下水道の施設は、1カ所にまとめるための設計の費用をあげている。

- ・工業団地の話も、宮下や本庄は広報にはでるが、豆田は出ない。

(市長) 地権者の方とのお話がつかなければ、なかなか前に進まない。宮下は、地権者の方とのお話がスムーズに進んだため、すぐに前に行った経緯がある。

- ・昨年、市民病院の病床を減らす話についておたずねしたが、もし減らさなければ補助金はいくらもらえるのか調べたのか。

(市長) 県の政策として、減らすという方針が出ていたのではないか。

- ・病院を新築するときには、耐震化の補助金が出ると思う。備前病院は、6億円もらうつもりにしていたが、成羽も同じ年に建て3億円ずつになったと聞いた。瀬戸内市はいくらもらう予定か。

(市長) 4億8千万円を予定している。

- ・福元グリーンタウンの近くにある防災無線の放送塔は、向きがちょうど住宅密集地を避けたようになっている。聞きづらいので聞けるようにしてもらえないか。

- ・山などがあると返ってきて聞こえなかったりする。スピーカーの上下の角度

も検討してほしい。

- ・何か放送しているな、と思って外に出たみても、もう2回目が終わりかけている。1回言ったら、間を空けて2回目を流してほしい。また、自治会の集会所の放送設備を使って流せないか。
- ・自治会の設備を使うのであれば、スイッチを入れっぱなしにしていないといけないので難しいのではないか。

(市長) 放送だけだとうまくいかない。メールの登録や、自動再生の電話などを活用してほしい。

- ・福祉や高齢化対策ということはすでにお考えと思うが、市の福祉担当部署や、社会福祉協議会、スマイル、ゆめトピアなど、たくさんある。ここへ言っておけば他の部署にも伝わる、というのがあるべきと思うが、伝わっていないようである。
- ・社会福祉協議会の安全カプセルなどは、高齢者の一人暮らしや二人暮らしの人のみが対象で、子や孫と同居している人は対象から外れている。しかし、同居している家族は不在がちな家もある。高齢者がいる家庭すべてに、希望の有無を聞くべきではないか。
- ・福元グリーンタウンが先進地として始めて、テレビの取材などを受けたこともあり、社会福祉協議会が事業を始めた。
- ・市や社会福祉協議会にいちいち届出をしないといけないとなると気軽に始めにくいので改善した方がよい。
- ・若くして持病をお持ちの人もある。希望者が利用できる仕組みにすべき。

(市長) 検討する。社会福祉協議会にも話をしてみる。